

# OpenPNE の手動インストールの方法

## ■ OpenPNE のダウンロード

OpenPNE 日本語公式サイトから「**安定版 OpenPNE 2.14.9**」をダウンロードします。下記の URL にアクセスしてください。

<http://www.openpne.jp/pne-downloads/openpne2/>


中ほどにある、「**安定版 OpenPNE 2.14.9**」の項目にある「**zip 版をダウンロード**」をクリックし、ダウンロードします。

## OpenPNE2


[Home](#) > [ダウンロード](#) > OpenPNE2

OpenPNEのプログラムはSourceForge.netからダウンロードできます。

## 安定版 OpenPNE2.14.9

 tar.bz2版ダウンロード

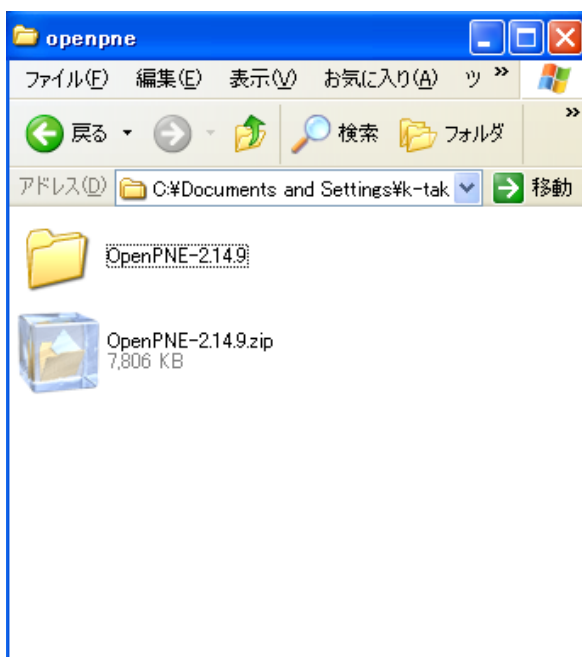
 tar.gz版ダウンロード

 zip版ダウンロード

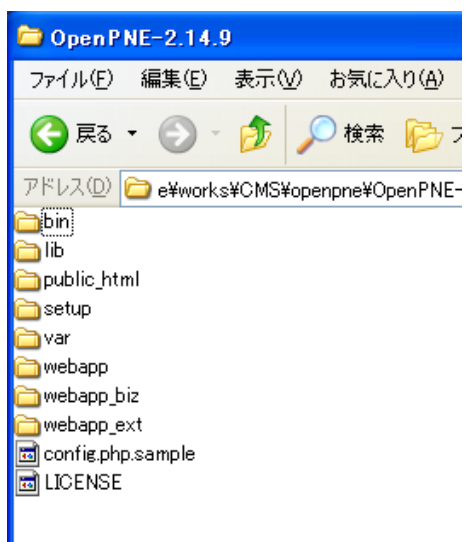
### 2.14 のマイナーバージョンアップをされるかたへ

OpenPNE2.14.7 でconfig.php.sample の変更が行われています。変更がまだの方は**必ずconfig.php の**

ダウンロードした「OpenPNE-2.14.9.zip」を解凍（展開）します。

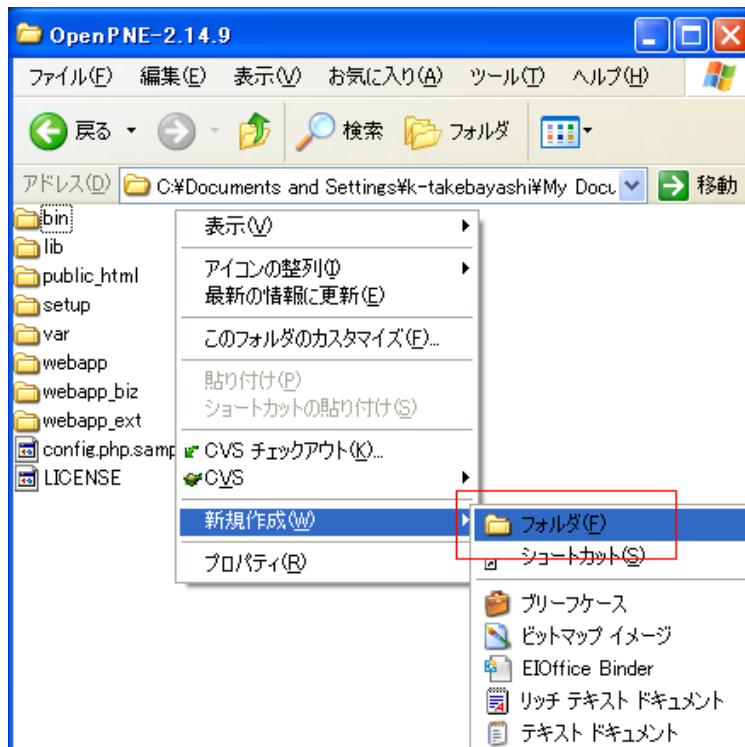


解凍（展開）してできた「OpenPNE-2.14.9」フォルダを表示します。

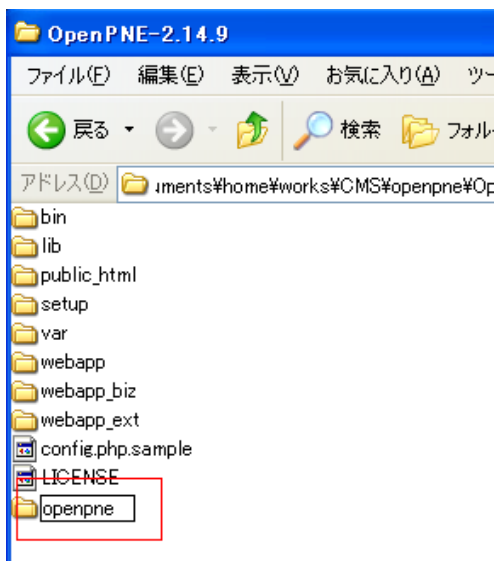


「OpenPNE」フォルダを作成します。

エクスプローラーの何も表示されていないところで右クリックしてメニューを表示し、「新規作成」から「フォルダ」をクリックしてください。

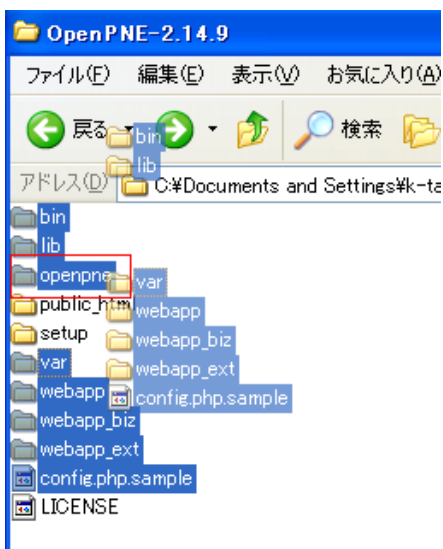


新しくできたフォルダ名を「openpne」に変更してください。



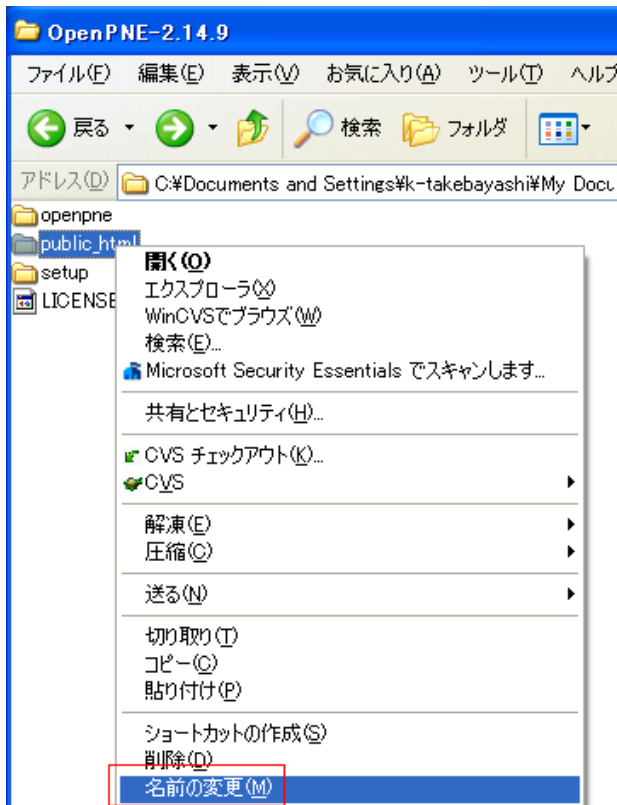
「openpne」フォルダに「bin」、「lib」、「var」、「webapp」、「webapp\_biz」、「webapp\_ext」フォルダ及び「config.php.sample」ファイルを移動します。

「bin」、「lib」、「var」、「webapp」、「webapp\_biz」、「webapp\_ext」、「config.php.sample」を選択し、「openpne」フォルダへドラッグ&ドロップしてフォルダとファイルを移動させてください。

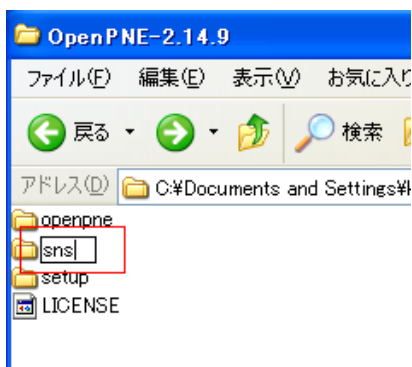


「public\_html」フォルダの名前を変更します。

フォルダを右クリックしてメニューを表示し、「名前の変更」をクリックしてください。

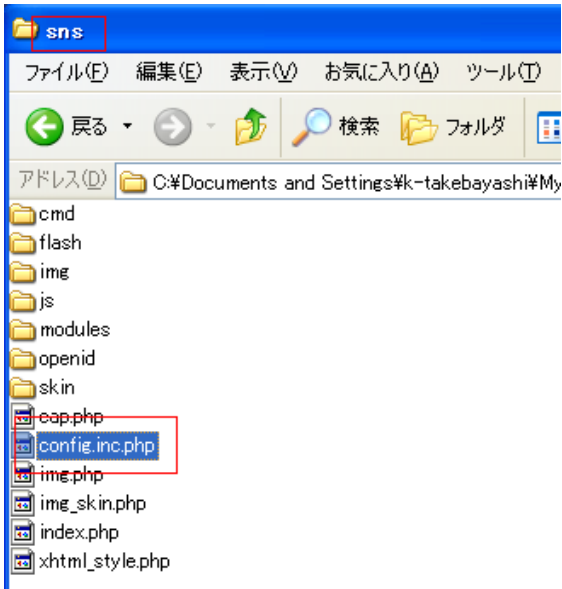


フォルダの名前を「sns」に変更してください。



## ■ 「openpne/config.php」と「sns/config.inc.php」の編集

「sns」フォルダを開いて「config.inc.php」ファイルをテキストエディタで開いて編集します。

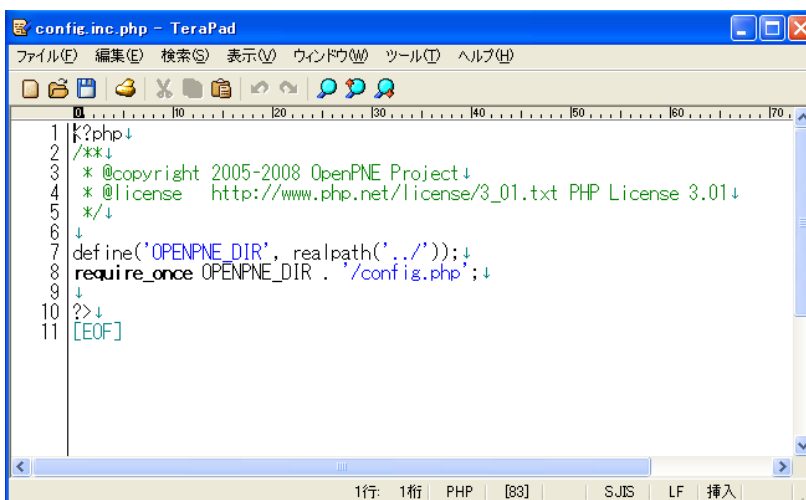


※設定ファイルを編集するテキストエディタには、UTF-8 コードの扱いや改行コードの変換機能が必要です。そのため、Windows の「メモ帳」は利用することができません。このような機能を持つエディタの 1 つに「TeraPad」があります。TeraPad は寺尾進氏が開発したフリーウェアで、シンプルさと多くの機能を持っていることで有名です。

### TeraPad

作者：寺尾進氏（フリーウェア）

URL：<http://www5f.biglobe.ne.jp/~t-susumu/library/tpad.html>



## ■ 「config.inc.php」に必要な設定をしていきます。

7 行目付近に先ほど作成した「openpne」フォルダを指定するの項目があります。

```
define('OPENPNE_DIR', realpath('../'));
```

上記の「realpath('../)」の部分を書き換えます。

「realpath('../openpne)」のように書き換えてください。

(例)

```
define('OPENPNE_DIR', realpath('../openpne'));
```

8 行目付近に先ほど名前を変更した「config.php」ファイルを指定するの項目があります。

```
require_once OPENPNE_DIR . '/config.php';
```

「config.php」となっていることをご確認ください。

## ■ 「config.php」に必要な設定をしていきます。

「openpne」フォルダを開いて「config.php.sample」の名前を変更します。

フォルダの名前を「config.php」に変更してください。



「config.php」ファイルをテキストエディタで開いて編集します。

7 行目付近に OpenPNE の URL を指定するの項目があります。

```
// Web 上の絶対パス(URL) (最後にスラッシュを付けてください)
define('OPENPNE_URL', 'http://sns.example.com/');
```

上記の「http://sns.example.com/」の部分自分の Web サイトの URL に書き換えます。

「http://あなたのURL(ドメイン名)/sns/」のように書き換えてください。

(例)

```
define('OPENPNE_DIR', 'http://example.jp/sns/');
```

## ■ データベースの設定

10 行目付近にデータベースの設定を記述する項目があります。

```
// DB サーバ 設定
$GLOBALS['_OPENPNE_DSN_LIST']['main'] = array(
  'dsn' => array(
    'phptype' => 'mysql',
    'username' => '',
    'password' => '',
    'hostspec' => 'localhost',
    'database' => '',
    'new_link' => false,
  ),
);
```

「データベース設定」のそれぞれの項目に事前に用意した自分のデータベースの設定を入力します。  
 「テーブルプレフィックス」、「データベースホスト名」、「データベースユーザ名」、  
 「データベースパスワード」、「データベース名」を入力し、  
 「データベース・サーバー」にポート番号「3306」を入力してください。  
 「テーブルプレフィックス」には「zen\_」を入力してください。

### ■ 事前に用意したデータベース設定

※CMSの事前設定をご参照ください

データベース名	: g601025	(データベース)
ユーザー名	: g601025	(ユーザー名)
パスワード	: sABn2rxz	(パスワード)
ホスト名	: localhost	(データベース・サーバー[:3306])

```
// DB サーバ 設定
$GLOBALS['_OPENPNE_DSN_LIST']['main'] = array(
  'dsn' => array(
    'phptype' => 'mysql',
    'username' => 'g601025',
    'password' => 'sABn2rxz',
    'hostspec' => 'localhost:3306',
    'database' => 'g601025',
    'new_link' => false,
  ),
);
```



22 行目付近に DB 暗号化キーを指定するの項目があります。

```
// DB 暗号化キー (56 バイト以内の ASCII 文字列)  
define('ENCRYPT_KEY', '');
```

上記の「」の部分を書き換えます。

(例) 56 文字以内の英大小文字を記述してください。

```
define('ENCRYPT_KEY', 'DoieKDhfwFhadpblqDFw');
```

※DB 暗号化キーは例のキーを使用せず、必ずご自身で考えて記述してください。

26 行目付近に携帯版でメール投稿をする場合に使われるメールサーバドメインを指定する項目があります。メールサーバがない方はこの項目はそのままにしておいてください。

```
// 携帯メール投稿の宛先などのドメイン名に使われる  
define('MAIL_SERVER_DOMAIN', 'mail.example.com');
```

上記の「mail.example.com」の部分を書き換えます。

(例)

```
define('MAIL_SERVER_DOMAIN', 'mail.example.jp');
```

## ■ OpenPNE のアップロード

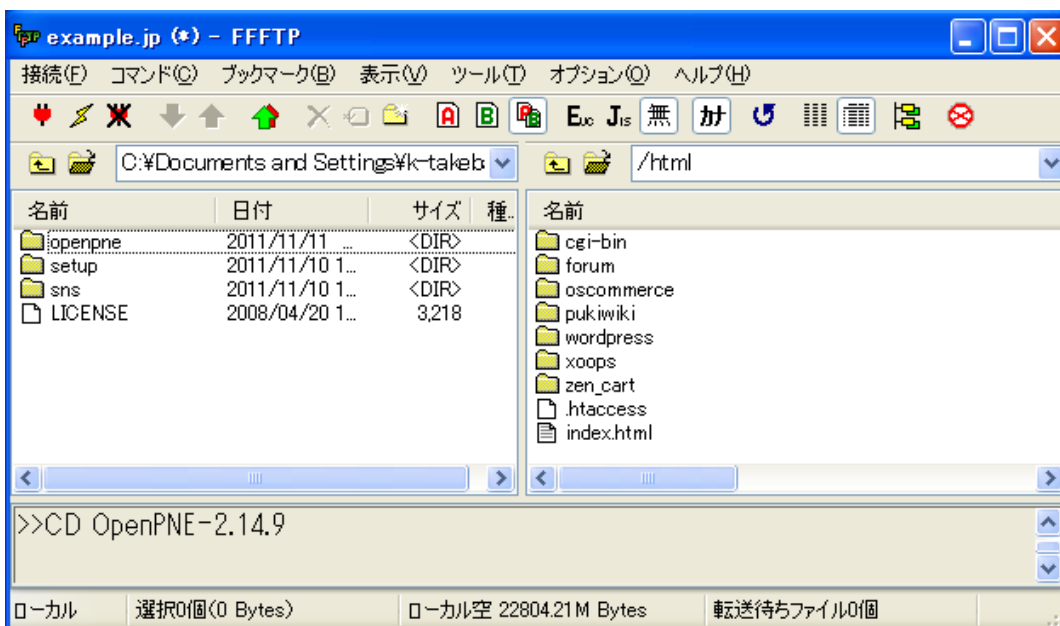
FTP ソフトでサーバーに接続します。

「接続」をクリックしてください。



※FTP の設定については「CMS の事前設定」を参照ください。

FTP ソフトの左部に「OpenPNE-2.14.9」フォルダを表示し、右部に「/html」ディレクトリを表示します。

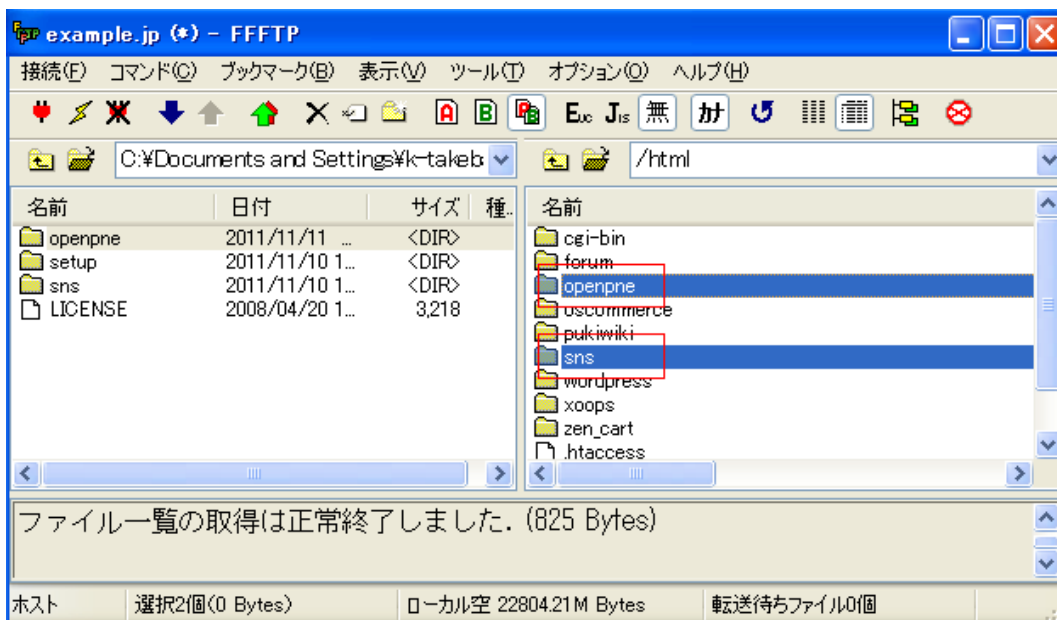


「openpne」、「sns」フォルダをサーバーにアップロードします。

※4000以上のファイルをアップロードしますので時間が長くなる場合があります。



無事アップロードされていることをご確認ください。



## ■ パーミッションの変更

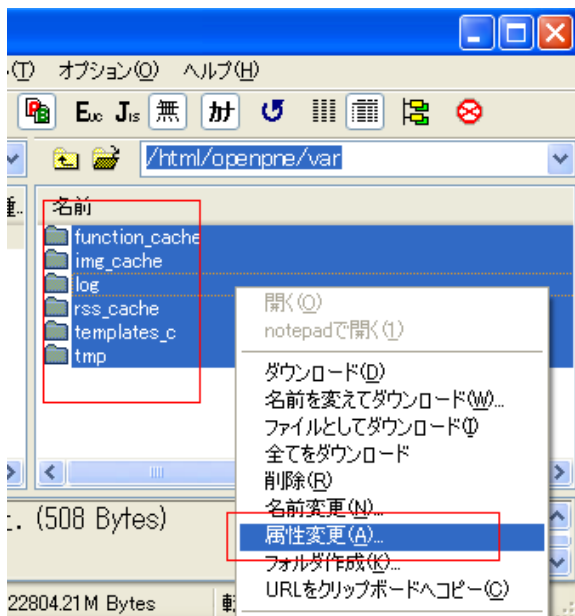
必要なファイルのパーミッションを変更します。

変更を行うファイルは「openpne/var」ディレクトリ以下にある、すべてのディレクトリです。

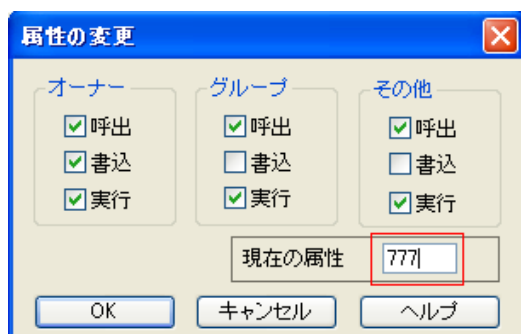
パーミッションを「777」にします。

- ・ ./openpne
  - /var
    - (777)function\_cache
    - (777)img\_cache
    - (777)log
    - (777)rss\_cache
    - (777)tmp

「openpne/var」ディレクトリにある、すべてのディレクトリを選択し、右クリックして「属性変更」をクリックします。



「現在の属性」を「777」に変更します。



## ■ データベースの作成

コントロールパネルより「制作ツール」をクリックします。

### Category 各機能のご案内

- ▶ **お客様情報**

コントロールパネルのパスワード変更や、Perl等のソフトウェアのバージョンの情報があります。
- ▶ **メール**

メールアカウントの作成、転送メールアドレスの設定・変更等を行います。
- ▶ **FTP/ファイル管理**

FTPアカウントの設定、セキュアファイルマネージャ等の機能があります。
- ▶ **制作ツール**

全文検索エンジンの利用、PostgreSQL/MySQLの設定、エラーページのカスタマイズ、cronの設定など、サイト制作の支援ツールがご利用いただけます。
- ▶ **ソフトライブラリ**

ショッピングカート、ブログ、アクセスカウンタなどのツールやグループウェアがご利用いただけます。
- ▶ **ログ管理**

【ホーム】

---

😊 お客様のご利用状況

※2011/10/19 01:16現在

■ 契約情報

サーバ名	eg001
IPアドレス	122.2

■ ディスク使用状況

「データベース」をクリックします。

<p>▶ <a href="#">サイト全文検索エンジン</a></p> <p>お客様サイトに、全文検索を取り付けるツールです。ファイル更新時には検索用インデックスを再作成する必要があります。(namazu(使用))</p>	<p>▶ <a href="#">アクセス制御 (BASIC認証)</a></p> <p>特定のディレクトリにアクセス制限をかけます。IDとパスワードを知っている人だけがアクセスを許可することができます。</p>	<p>【ホーム】</p>
<p>▶ <a href="#">データベース</a></p> <p>MySQL, PostgreSQL, phpPgAdmin, phpMyAdminをご用意しております。</p>	<p>▶ <a href="#">エラーページ設定ツール</a></p> <p>404, 403等のエラーページの表示を、初期設定のものから、お客様が作成されたHTMLファイルに変更するツールです。</p>	<p>■ 契約情報</p> <p>サーバ名 e501.secure.nip IPアドレス 122.200.197.35</p>
<p>▶ <a href="#">Perl文法チェッカ</a></p> <p>お客様のPerlスクリプトの文法をチェックすることができます。</p>	<p>▶ <a href="#">スクリプト定期実行ツール</a></p> <p>お客様のCGIスクリプトを、指定されたスケジュールで実行するツールです。(cron機能)</p>	<p>■ ディスク使用状況</p> 

「MySQL4.0 管理画面」をクリックします。

ホーム > お客様情報 > メール > FTPクライアント > 制作ツール > データベース

## データベース

このページのヘルプ

<p>▶ <a href="#">MySQL4.0管理画面</a></p> <p>MySQL4.0の管理画面です。ブラウザ上からデータベースを簡単に管理できます。(phpMyAdmin(使用))</p>	<p>▶ <a href="#">PostgreSQL7.3管理画面</a></p> <p>PostgreSQL7.3の管理画面です。ブラウザ上からデータベースを簡単に管理できます。(phpPgAdmin(使用))</p>
---	---

※ご注意※

MySQLの仕様上、「test」を含むデータベース名でデータベースを作成すると、同じデータベース名の他のデータベースも同時に作成されてしまいます。ご注意ください。

データベースへの接続画面が表示されます。

「ユーザー名」には「レンタルサーバーID」

「パスワード」には「レンタルサーバー パスワード」

を設定してください。



※ID とパスワードがわからない場合は弊社サポートセンターまでお問い合わせ下さい。

「phpMyAdmin」の画面が表示されます。

右部に「g601025（あなたのデータベース名）」がありますので、そこをクリックします。



中央上部にある「SQL」をクリックします。





ページ下部にある「テキストファイルの場所:」の項目にある「参照」をクリックします。

サーバー: localhost ▶ データベース: g601025

構造 SQL エクスポート 検索 照会 操作

non  EUC  SJIS エンコーディングへ変換する  
 全角カナへ変換する

データベース g601025 に SQL 照会を実行する: ⑦

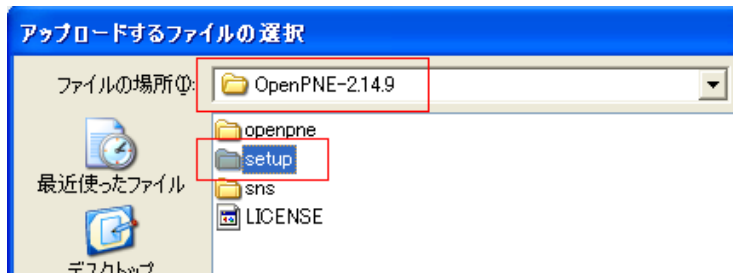
実行した照会をここに表示する 実行する

または  
 テキストファイルの場所:  
 参照... (最大サイズ: 102,400KB)

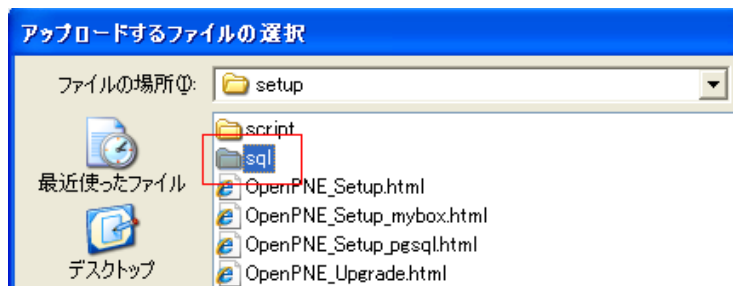
圧縮:  
 自動検知する  無し  "gzip 方式"

実行する

先ほど解凍（展開）してできた「OpenPNE-2.14.9」フォルダを表示し、「setup」フォルダを開きます。



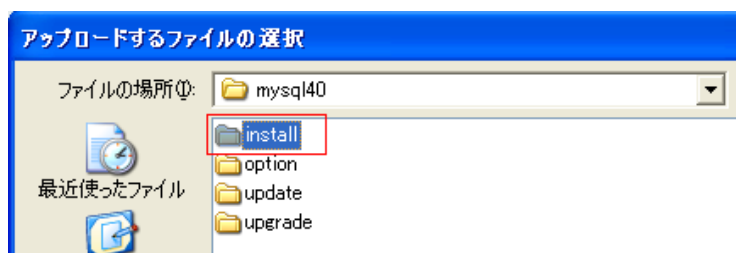
「sql」フォルダを表示します。



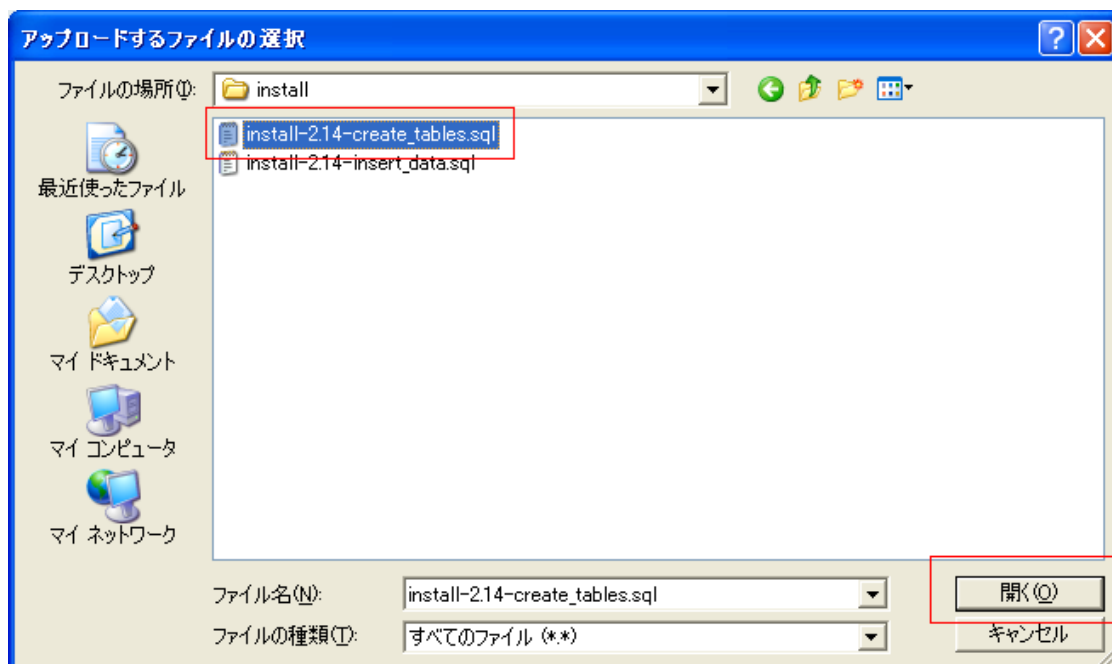
「mysql40」フォルダを表示します。



「install」フォルダを表示します。



「install-2.14-create\_tables.sql」ファイルを選択し、「開く」をクリックします。



「実行する」をクリックします。

または  
テキストファイルの場所:

C:\Documents and Settings\ [参照...] (最大サイズ: 102,400KB)

圧縮:  
 自動検知する    無し    "gzip 方式"

実行する

下図のように表示されれば成功です。

サーバー: localhost ▶ データベース: g601025

構造 SQL エクスポート 検索 照会 操作

SQL 照会が正常に実行されました:  
ファイルのデータを挿入しました。(install-2.14.create\_tables.sql: 98 実施例)

もう一つのファイルも実行します。

「参照」をクリックします。

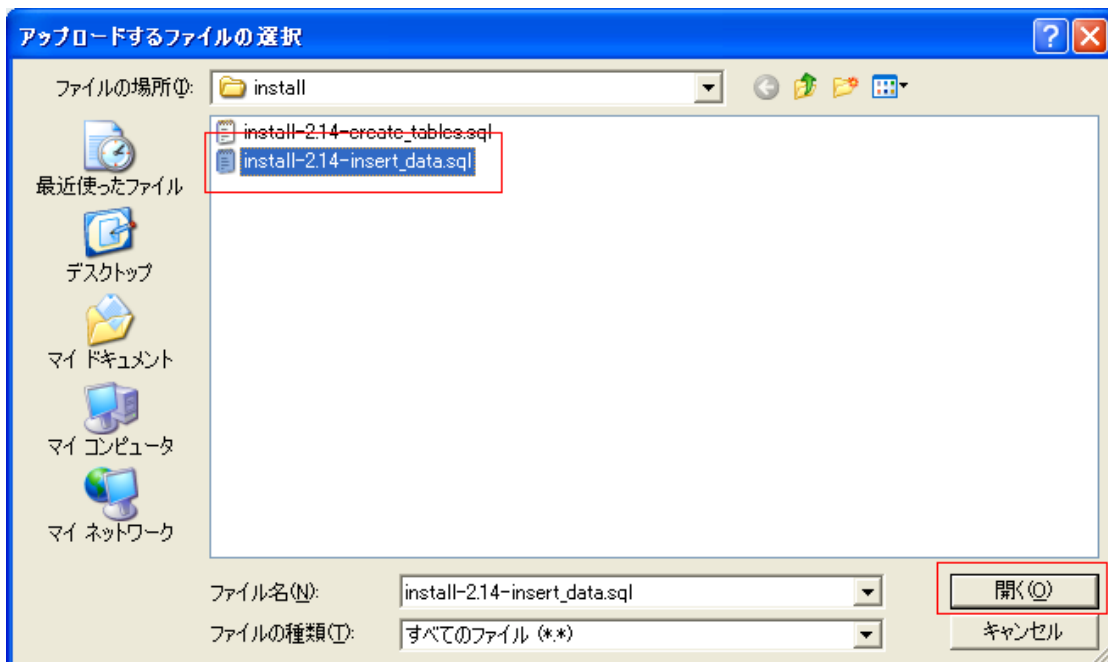
または  
テキストファイルの場所:

[参照...] (最大サイズ: 102,400KB)

圧縮:  
 自動検知する    無し    "gzip 方式"

実行する

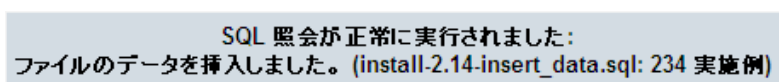
「install-2.14-insert\_data.sql」を選択し、「開く」をクリックします。



「実行する」をクリックします。



下図のように表示されれば成功です。



これで、データベースの作成は終了です。

## ■ 表示の確認・インストール

アップロードが完了したらさっそく、ブラウザでアクセスしてインストールウィザードを開きます。

「[http://あなたのURL\(ドメイン名\)/sns/?m=setup](http://あなたのURL(ドメイン名)/sns/?m=setup)」にアクセスしてください。

下図のような画面が表示されます。

任意の SNS 名、パスワード、メールアドレス、管理アカウント名を入力してください。

今後管理画面のログインに必要となりますので、入力されたものは控えておいてください。

※SNS 名は必ず半角英数で入力してください。

「**セットアップ実行**」をクリックします。

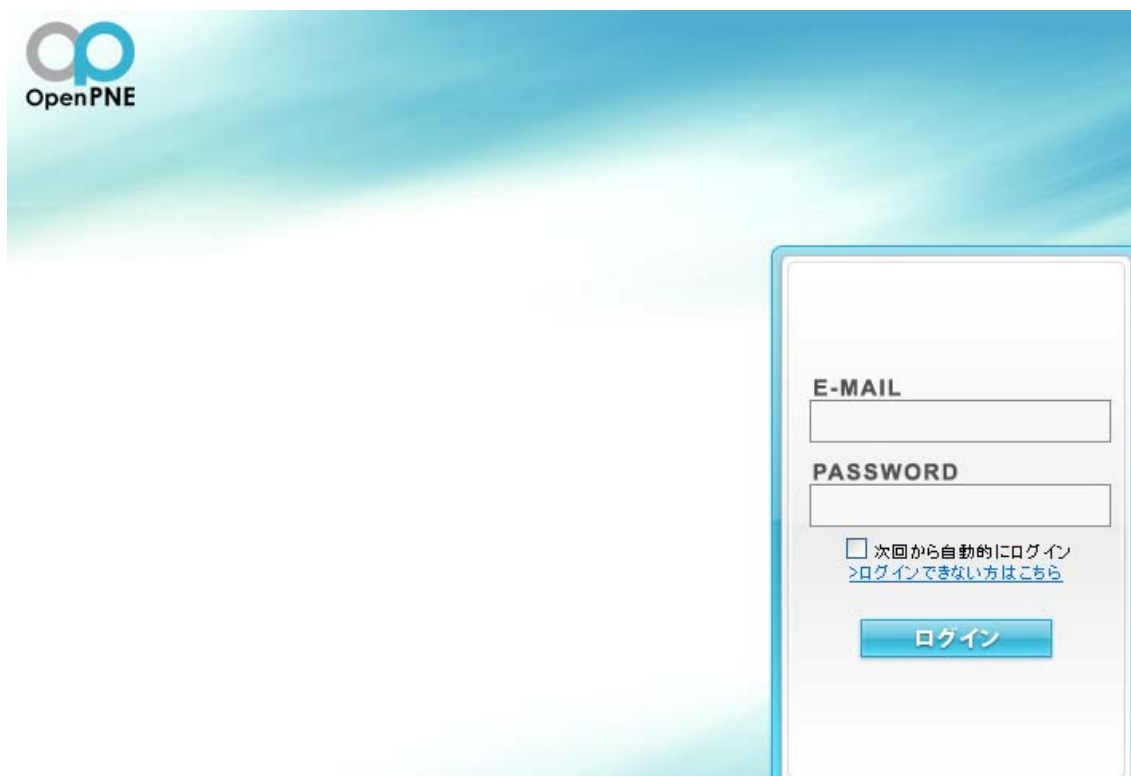
SNS名	
SNS名	<input type="text" value="Example"/>
初期メンバー	
初期メンバーのログイン情報の設定をします。 プロフィールやその他の設定項目はログイン後に設定してください。	
PCメールアドレス	<input type="text" value="user@example.jp"/>
パスワード	<input type="password" value="....."/>
パスワード(確認)	<input type="password" value="....."/>
管理用アカウント	
管理画面へのログイン用アカウントの設定をします。	
管理用アカウント名	<input type="text" value="example"/>
管理用パスワード	<input type="password" value="....."/>
管理用パスワード(確認)	<input type="password" value="....."/>
<input type="button" value="セットアップ実行"/>	

以上で、セットアップは完了です。

さっそくログイン画面を表示してみましょう。

「[http://あなたのURL\(ドメイン名\)/sns/?m=pc](http://あなたのURL(ドメイン名)/sns/?m=pc)」にアクセスしてください。

管理画面へのログインは「[http://あなたのURL\(ドメイン名\)/sns/?m=admin](http://あなたのURL(ドメイン名)/sns/?m=admin)」にアクセスしてください。



以上で、OpnePNE のインストールは完了です。